



風の子

糸魚川市立木浦小学校

H30 学校だより No.14

平成 30 年 12 月 10 日発行



にこにこ笑顔

雁(がん)の渡り ~全校朝会の講話から~

富永 浩文

新潟県には、いろいろな渡り鳥が飛んできます。渡り鳥には大きく2種類あります。夏を過ごすために春やってくる渡り鳥で夏鳥と呼ばれます。一方、冬を過ごすために秋やってくる渡り鳥で冬鳥と呼ばれます。夏鳥は南の国からやってくる鳥。ツバメやカッコウなどがそれです。冬鳥は北の国からやってくる鳥。雁や白鳥、ツルなどがそれです。数千キロ、何万キロという気の遠くなる距離をほとんど休むことなく飛んできます。その中で、冬鳥、雁の渡りを紹介します。

雁は秋の終わりごろにシベリアから飛来します。何羽かの群れで飛んできます。雁の渡りの様子を見ると、Vの形をしていることがよくあります。どのような意味があるのでしょうか。実は次のような意味があるそうです。

鳥が空を飛んでいくためには、上昇気流と前へ進むスピードを得なければなりません。研究者によると鳥は羽ばたきによって空気を下に押し下げると、その外側に上昇気流が生まれるのだそうです。ななめ後ろにいる鳥は、前の鳥の羽ばたきによって生まれた上昇気流を使って、あまり力を使わずに飛び続けることができるのだそうです。



雁のV字飛行(ホームページから)

V字飛行の良さは、先頭の鳥の羽ばたきが次々と後ろの鳥の飛行を助けることができる点です。雁は、経験や本能でそのことを知っていて、仲間でV字を作って飛ぶのだそうです。ここで、「先頭は疲れないかな。後ろは楽じゃないかな。どんな鳥が前に飛んで、どんな鳥が後ろで飛ぶのかな。」といった疑問が生じます。そこで、研究者は調査をしました。そして、突き止めました。

先頭の何羽かは、最も力の強い大人の鳥で、先頭を交代しながら飛ぶのだそうです。後ろで飛ぶ鳥は、まだ子どもの鳥やお年寄りの鳥が多いそうです。それでも、飛んでいる最中に脱落する鳥もいるそうです。そんな時は、何羽かがその鳥に寄り添いながら飛んで、弱った鳥が回復するまで飛ぶのを助けるのだそうです。みんな自分のことも大変なのですが、お互いのことを考えながら、助け合うのですね。強いものが弱いものをいたわり、みんなで協力して長い旅を乗り切ろうとするのですね。

わたしは、皆さん(木浦小の子どもたち)の姿と雁の渡りの様子とが、重なって感じられました。これまで、上学年の人が下学年の人をやさしく支えている様子をたくさん見てきました。リーダーがみんなを引っ張る。色々なところでリーダーが交代して活躍する。困っている友達に声をかけ、手を差し伸べている。みんなで励ましあいながら、目標に向かって頑張る。雁の渡りと同じです。これからも、一人ひとりの違いを認め合って寒い冬を元気に乗り切り、羽ばたいていきましょう。

互いを思いやり、いたわり助け合う いじめ未然防止に向けたきずな集会

11月は人権について考えたり、いじめのない学校づくりについて考えたりしてきました。27日(火)には、第2回木浦小学校きずな集会を開催しました。ゲームをとおして、また、話し合いや役割演技をとおして、さらに、自らの決意を発表しあう活動をとおして、いじめを許さない、見逃さない学校づくりについて、みんなで考えました。

まず、友だち同士で協力して課題を解決する活動です。「いいよ、その調子。」「だいじょうぶ。」「が

んばれ。」「うまい。」など、お互いに励ましあい、試行錯誤しながら課題を解決しようとする様子が見られ、とても微笑ましく感じられました。

次に、短い劇を見ながらいじめについて考える活動です。悪気がなくても人を傷つけてしまうような友だちの言動に、「おかしいな?」と気づく力(感性)が大切です。たくさん子どもたちが適切でない言動に気づき発表していました。また、温かい言動について話し合い、実際にロールプレイ(役割演技)をとおして、体験的に学んでいました。

最後は、標語の発表です。いじめのない学校を作るためにどんなことに気をつけていけばいいのか、全員が発表し合いました。「相手と向き合って、話すこと」「毎日の挨拶を大切にすること」「『だいじょうぶ』と、声をかけること」など、思いやりの大切さを感じさせる言葉をちりばめた標語がたくさん発表され、心が温かくなりました。

一人ひとりが自分の心を見つめ、いじめについて、そしていじめのない学校について考えました。正しいと思うことをきちんと判断し、言葉や行動で表現していました。人間関係を営む上で、いじめは起こりうることです。しかし、きっと木浦小学校では、子どもたちの思いやりでいじめが起これ

にくい体質が作られ、仮に起こってもお互いに気づきあうことで、いじめを早期に解決、解消することができるだろうと強く感じました。

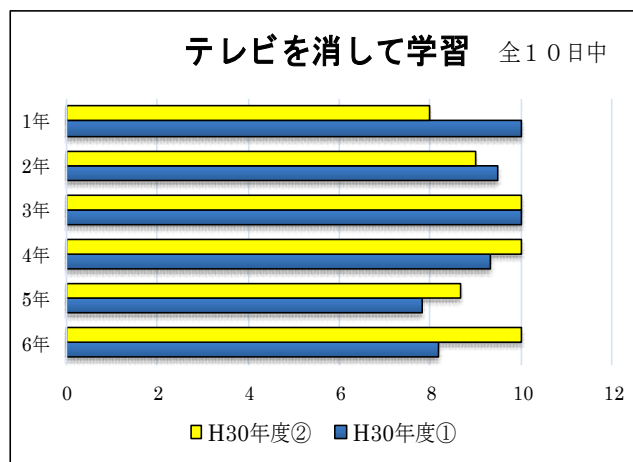
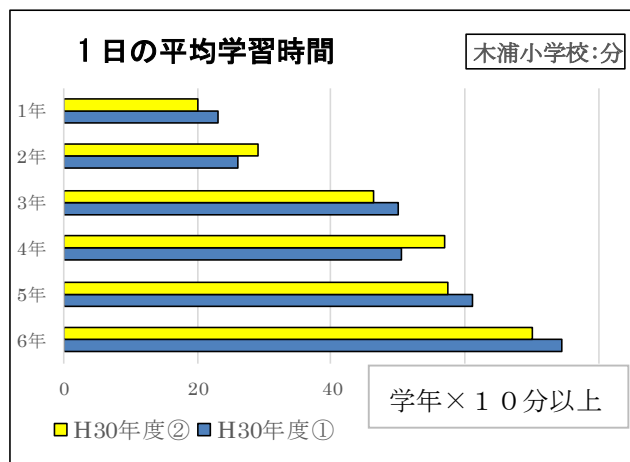
今後も、子どもたちの様子に目を配り、寄り添いながら、保護者や地域の皆さんと一緒にいじめのない学校を目指して教育活動を行っていきます。

なお、30日(金)には、中学校区のいじめ見逃しゼロ集会が行われ、5、6年生が参加しました。いじめのない学校づくりのため、学校、学年を超えて意見を交換し合い、絆を深めました。



学習習慣・生活習慣の定着におけて

11月6日から10日間にわたって行われた学習協調旬間へのご支援、ありがとうございました。中学校のテスト期間に合わせて行った今年2回目の取組。学校では、事前に全校朝会の場や教室でオリエンテーションを行い、子どもたちの意識を高めました。ご家庭での様子はいかがでしたでしょうか。集計の結果が出ましたので紹介します。今回は「学習時間」、「テレビを消して学習」について、1回目との比較で紹介します。



学習時間については、ほぼ全ての学年において目標を達成しています。4年生のがんばりが顕著です。5年生のがんばりを期待しています。

テレビを消して学習については、中、高学年で向上が見られます。低学年でがんばりを期待しています。

冬休みに向けて、家庭での学習時間を増やすとともに、テレビを消して学習を行うように指導してください。併せて、メディアとの接触2時間以内や目標時刻までの就寝についても、指導をお願いします。

収穫祭で感謝の気持ちを伝えよう。11月22日(金)

～お忙しい中、19名の方から来ていただきました。～



心を込めて食事や会場の準備

お礼の挨拶



一人ひとりへ感謝の言葉

コシヒカリのご飯とサケ汁で心も体も温まる

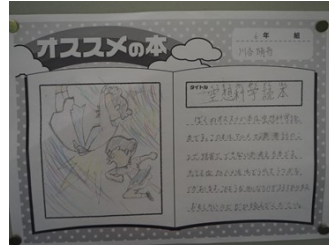
学習の成果発表

読書で心を耕す

秋の読書旬間 11月6日(火)~15日(木)



子どもたちによる読み聞かせ



読書ボランティアさんによる読み聞かせ

おすすめの本の紹介

色々な取組を行い、読書への興味・関心を高めることができました。ご家庭でも読書カードの作成にご支援、ご協力いただきありがとうございました。楽しいカードが児童玄関前に掲示されています。

地域の指導者によるクラブ活動 9月25日(火)~11月29日(木) 全4回



将棋クラブ

スポレッククラブ

料理・手芸クラブ

本物の技術を学び、力を付けることができました。指導者の生き生きとした姿に、あこがれをもった子どもも多かったのではないかと思います。